

## 1. 教員および授業の概要

①教員名： 播本 崇史 (Takafumi Harimoto)

②担当科目

博士前期課程：北東アジア専門講義 4 (北東アジア比較思想)  
北東アジア研究指導 I～IV

③教員のプロフィール

東洋大学大学院文学研究科中国哲学専攻博士課程修了  
博士 (文学)

④所属学会

日本中国学会、日本道教学会、白山中国学会、中国文史哲研究会

⑤研究領域や関心をもっているテーマ

**【研究領域】**

中国哲学・日本思想

**【関心をもっているテーマ】**

- ・ 朱子学・陽明学
- ・ 中国キリスト教思想
- ・ 西周 (にしあまね) の哲学思想

⑥研究指導方針

思想・哲学研究。漢文資料の文献研究。関連する先行研究の調査。  
文献読解を基本とし、人間観・社会観の変遷を把握する。

⑦指導可能な研究テーマ (あるいは過去 (現在) に指導した研究テーマ)

- ・ 中国および日本における朱子学・陽明学、明末清初期の中国キリスト教思想、近代日本思想 (西周の哲学思想)

## 2. 研究業績リスト

①著書

(共著) 小路口聡編『語り合う〈良知〉たち』(研文出版、2018)

単担：「陽明学の「知天」における思惟構造—天主教書『天儒印』と王陽明・王龍溪の思想から」(160-205)、共担：伊香賀隆・播本崇史「王龍溪講学活動に関する現地調査報告」(376-411)、早坂俊廣・播本崇史「王龍溪講学活動関係地図」(412-414)

## ②論文

### 【主な論文】

- 「天主教批判の論拠—『天学初徴』における考察」（東洋大学大学院紀要 45, 2008）
- 『天主実義』における「耶蘇」の説き方」（白山中国学(15), 2009）
- 「明末天主教の「天」に関する一考察」（白山中国学(17), 2011）
- 「天主・太極論争」（東洋学研究(48), 2011）
- 「明末天主教書における靈魂論」（日本中国学会報(63), 2011）
- 「明末天主教「格物」論攷」（東洋学研究(49), 2012）
- 「明末天主教における「霊」と「理」に関する一考察」（東洋大学中国哲学文学科紀要(21), 2013）
- 「明末天主教における容教士人たちの視座：『天主実義』序跋から」（東洋学研究(51), 2014）
- 「容教士人の「心学」理解に関する一考察：李之藻の「心性実学」を中心として」（白山中国学(21), 2015）
- 「楊廷筠の「万物一体」論：『代疑篇』第四の問答を中心として」（『東洋学研究』53, 2016）
- 「西周の実用性への視座」（『国際哲学研究』6, 2017）
- 「西周の儒学批判：『百一新論』卷之上再考」（『国際哲学研究』7, 2018）
- 「西周の「哲学」再考：『百一新論』と慶応年間の手記から」（『国際哲学研究』8, 2019）

## 3. 学生に対するメッセージ

文献講読は地道な作業です。根気よく調べ、適切に考え抜かなければなりません。まずは原典に則して内容を学び知ることが肝要です。先入観や固定観念に囚われることなく、真摯に資料と向き合います。先行研究の徹底的な調査が「適切さ」に確証をもたらしてくれるでしょう。また先行研究そのものに対する分析評価も尽くさねばなりません。研究においてなすべきことは多々あります。しかし、「分かる」ことは嬉しいものです。共に学ぼうとする受講生をお待ちしています。